



# あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'00 9月号

縄文人に負けるな！

## 体験学習 「縄文土器を作ろう」



今夏も体験学習「縄文土器を作ろう」が開催され、8月9・10・11・23日の4日間、本物の縄文土器を見ながら、小学5年生から中学生までの18名が実物大の縄文土器作りに挑戦しました。参加者は悪戦苦闘の連続でしたが、縄文人の知恵を知ることが出来たかと思えます。

～参加者の感想から～

社会で縄文時代（土器）を学んだので「縄文土器を作ろう」にさんかしました。初めて粘土から作ったのでドキドキしました。今、ごはんを食べるおちゃわんの祖先作っていることをじっかんした。どきがなかったら、おちゃわんはないと思いました。上手にできてよかったと思います。（渡辺知美）

初めて土器をつかって、昔の人がどうゆうふうにつくっていったかを、だいたい？わかりました。最初つくりはじめるとき、こんなのできんのかなー、大変だろうなー、と不安いっぱい、つくりはじめた時は、形が見本とぜんぜんちがいました。一番最初のこねる時などは、力はあるは、体力はあるはで、なんでこんなのに参加したのだろうかと思いました。でも、そのうち、だんだん楽しくなってきました。その調子だ！！と自分の中で自分を応援しつつ・・・。そうしたつみかさねがあり、ついにかんせいしました。その時はすごうれしかったです。でも、もう一度つくりたいとはあまり？思えなかった気がします・・・。（秋山早紀）

## 総合公園に見られる石材

ふだん、何気なく見過ごしていますが、街の中には様々な石材が数多く利用されています。考えてみても、ビルの外壁や内装材、住宅地の門柱、石垣、石塀、庭石、飛び石、敷石、記念碑・社寺の鳥居、狛犬、墓石、石仏など思い浮かぶでしょう。こうした石材の利用は、その石の特徴を生かして、古い歴史の中で生活の知恵として生まれ、私たちの生活に不可欠なものとなっています。この石材からは地球誕生の歴史や、日本列島の成り立ちについて知ることができます。ここでは、平塚市総合公園についてみてみましょう。

総合公園には、15種類もの石材が使われています。外周道路の縁石や園内の歩道縁石には栃木県那須町産の芦野石が使われています。これはサイコロ状に切り出した石材で、現在では暗褐色をしていますが、本来は白色をしていました。この芦野石は、よく見ると中に1～2cm程の岩石片が含まれているのが特徴で、ある方向から見るとレンズ状の縞模様が部分的に見えます。この芦野石是那須から福島県南部にかけて広く分布し、白河火砕流と呼ばれる地層から切り出したものです。白河火砕流是那須岳の噴火に先だって、更新世前期(約100万年前)に起こった、極めて大規模な火砕流の堆積物です。従って溶岩ではなく、高温で火山灰が溶結して固まった凝灰岩で、岩石名は溶結凝灰岩といいます。一般には白河石として知られていますが、福島県産を白河石、栃木県産を芦野石と呼びます。芦野石の方が白く、白河石はやや赤味がかった石材です。

中央入口のトーテムポールの様なモニュメントは黒いカンラン石玄武岩で、溶岩が冷却するときできた縦の割れ目(柱状節理)を利用したものです。これは長崎県佐世保市産の肥前六方石で、中新世後期(約600万年前)に、北九州一帯に噴出した溶岩です。このような太い柱状節理を示す六方石は、日本ではこの肥前六方石だけで、世界的にも極めて貴重なものです。

公園内の噴水・流れ周辺の石垣・体育館横や東入口のモニュメント・球場入口や東入口の公

園銘板などには白色のみかげ石(花崗岩)が数多く使われています。このゴマシオ状の白みかげ石は、茨城県真壁町から産出する真壁みかげで、筑波山塊を作っているみかげ石の一つで、白亜紀後期(約6000万年前)に形成されたものです。よく見ると、マグマの活動を示す、白い石英脈が後から入り込んだ跡や、違う組成のマグマが混ざり合った様子を見ることができます(体育館横や東入口のモニュメント)。球場入口の銘板はみかげ石を貫く白い石英脈の上に文字を掘ったもので、脈の白をうまく利用しています。この文字の刻まれている表面をルーペで見ると、粗い結晶に混じって、1月の誕生石であるガーネットの結晶が多量に含まれていることがわかります。

この他、日本庭園では池の縁に伊豆六方石(修善寺町)が、通路や庭園外回りの土留めに佐久石(長野県荒船山の火砕流堆積物)が、レストラン大原横の池の縁には真鶴町の小松石(箱根溶岩)が、池底には真鶴ゴロタが、メタセコイアの並木には利根川(茨城県)の深芝砂利が、体育館の階段や体育館入口の銘板には、ブラジル産のカパオボニート(約10億年前の赤みかげ)が使われています。



総合公園外周道路や園内の歩道縁石に使われている栃木県那須町産の芦野石

### 秋期特別展 「街の中の石材 - 地球からの贈り物 - 」

私たちの暮らしの中には、石垣・塀・門柱・記念碑・ビルの外壁や内装材・庭石・飛び石・モニュメントなど様々な石材が利用されています。平塚市域での石材調査の結果、市域には200種類以上もの石材が使われていることがわかり、近隣のものだけでなく、日本各地や外国のものも多く確認できました。地球からの贈り物であるこれらの石材は、地球の誕生や日本列島の生い立ちを物語っています。今回の特別展では、こうした街の中の石材を取り上げ、石材標本とその利用例、地球や日本列島・相模川流域の誕生との関わりについて展示します。

平成12年10月7日(土)～11月19日(日)平塚市博物館特別展示室 入場無料

身近な  
生きもの  
調査



みんなで調べよう

## 身近な林調べ

環境庁が、緑の国勢調査の一環として全国から参加者を募集して行う「身近な生きもの調査」に参加します。今年と来年のテーマは「身近な林調べ」で、秋から冬にかけての調査では、ドングリ・赤い実などの種類を調べたり、写真をとったりします。下記の予定で行事を行いますので、ふるって参加してください。なお、既に環境庁に個人的に申し込まれた方の参加も歓迎します。

日時：

10月15日（日）午後2時～4時 ガイダンス（館内）

10月29日（日）午前10時～午後3時 野外観察会

12月2日（土）午後2時～4時 まとめ（館内）

申込：9月20日までに往復はがきで。定員なし。

緑の国勢調査とは？

環境庁が1978年から実施している「自然環境保全基礎調査」のことです。この調査では、動植物、地質などの専門家によって、さまざまな情報収集が行われており、日本の国土にどんな種類が生息しているのか、その中の重要な種類についてはどんなものがあるか、海岸線や川の自然度がどうなっているかなどが報告書にまとめられています。

身近な生きもの調査とは？

緑の国勢調査の中で、市民から調査員を募って行われるのが身近な生きもの調査です。最近では、毎年テーマを変えて行われており、セミのぬけがら調べ、ツバメの巣調べなどが行われました。博物館では毎回、団体参加をして、調査に協力してきました。

身近な林調べではどんなことをするの？

- ・公園の木立、神社やお寺の森、雑木林など、家の近くで調べる林を決めます。
- ・秋から冬には、ドングリを集めて種類を調べること、赤い実を探して写真をとること、林のようすについてアンケートに答えることが、調査の内容です。
- ・来年の春には林のまわりでタンポポを集めること、夏には虫の写真をとることが予定されています。

特にご家族での参加を歓迎します。



- ご寄贈ありがとうございました -

### 大空襲絵画の平野さんに吉野市長から感謝状



7月13日、日本美術会会員の画家平野哲男さんから、勤労動員先の旧海軍火薬廠での空襲体験を描いた油彩画2点 - 平塚大空襲・学徒動員15才の死と生 - が寄贈されました。これに伴い、8月10日、平野さんに吉野稜威雄平塚市長から感謝状が贈られ、贈呈式が博物館の一階から二階の常設展示室に続く吹き抜け階段の壁面に掛けられている作品を前にして行われました。

平野さんと同じ空襲体験を持つ吉野市長は、「市民への贈り物として大切にしていきたい」と平野さんに伝えていました。

### News!===== 天体観察会が表彰

博物館の天体観察会が、環境庁の呼びかけで行われている「全国星空継続観察調査（スターウォッチングネットワーク）」での功績が認められ、「星空の街・あおぞらの街」全国協議会会長賞を受賞することになりました。表彰式は9月2日に岡山県美星町で行われます。

# 博物館カレンダー

## 2000年9月

1	金	古文書講読会	講堂
6	水	博物館実習(学芸員志望大学生) (~9月13日)	博物館
7	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
8	金	古文書講読会	講堂
9	土	◎ 漂着物を拾う会	虹ヶ浜
		天体観察会「太陽・天球儀」	科学室
		☆ プラネタリウム「フリークックogram」 (~10月1日)	プラネ室
13	水	☆ プラネタリウム「学校投影」 (~3月)	プラネ室
14	木	石仏を調べる会	特研究室
		☆ 寄贈品コーナー「実習生展示」 (~10月29日)	展示室
17	日	◎ ろばたばなしの会	展示室
20	水	裏打ちの会	科学室
21	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
22	金	古文書講読会	講堂
24	日	古代遺跡を探す会	野外
28	木	石仏を調べる会	特研究室
29	金	古文書講読会	講堂

## 2000年10月

1	日	○ 自然観察会「秋の花と鳥」	弘法山
5	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
6	金	古文書講読会	講堂
7	土	○ 考古学入門講座「集落」	講堂
		天体観察会「惑星」	屋上
		☆ 特別展「街の中の石材」 (~11月19日)	特展室
		☆ プラネタリウム「よいの明星」 (~12月3日)	プラネ室
8	日	地質調査会	科学室
12	木	石仏を調べる会	特研究室
13	金	古文書講読会	講堂
		◎ 星を見る会「満月」	屋上
14	土	◎ 漂着物を拾う会	虹ヶ浜
		地質調査会	野外
15	日	◎ ろばたばなしの会	展示室
		民俗探訪会「海宝寺のお十夜」	幸町
		○ みんなで調べよう「身近な林調べ」	科学室
18	水	裏打ちの会	科学室
		地質調査会	特研究室
19	木	展示解説ボランティアの会	特研究室
20	金	古文書講読会	講堂
21	土	○ 考古学入門講座「集落」	講堂
22	日	古代遺跡を探す会	野外
		相模川の生い立ちを探る会	野外
26	木	石仏を調べる会	特研究室
27	金	古文書講読会	講堂
28	土	空襲と戦災を記録する会	特研究室
		◎ 特別展講演会「街の石材」	講堂
		◎ 特別展観察会「街の石材」	野外
29	日	○ みんなで調べよう「身近な林調べ」	野外

### ☆寄贈品コーナー「実習生による展示」

博物館実習生が一週間の実習成果として、企画から制作までを行います。どんな展示になるかお楽しみに..

期間：9月14日(木)～10月29日(日)

### ☆フリートークプラネタリウム

投影テーマはありません。時々の星空から話題をピックアップします。「レアな」裏話が飛び出すかも..

期間：9月9日(土)～10月1日(日)

投影日：土日曜日 午前11時 午後2時

### ◎漂着物を拾う会

日時：9月9日(土) 午前9時30分～11時

場所：平塚虹ヶ浜海岸

申込：参加自由ですが初めての方は往復はがきで申し込んでください。折り返し集合場所等ご案内します。

### ○自然観察会「秋の花と鳥」

秦野市の弘法山を歩き、秋の花や鳥の観察をします。

日時：10月1日(日) 午前9時～午後3時

場所：弘法山

申込：9月15日までに往復はがきで。定員30名。

### ○みんなで調べよう「身近な林調べ」

環境庁の「身近な生きもの調査」に参加。身近な林でドングリ・赤い実などの種類を調べたり、写真をとったりします。くわしくは前のページをごらんください。

### ○考古学入門講座「集落」

各時代の集落の立地、構造、変遷について講義します。

日時：10月7日(土) 午後2時～4時 縄文時代

10月21日(土) 午後2時～4時 弥生時代

11月4日(土) 午後2時～4時 古墳時代

11月18日(土) 午後2時～4時 奈良・平安時代

場所：博物館講堂

申込：往復はがきで9月20日まで。定員80名。

### ◎ろばたばなし

展示室民家で相模地方の伝説と昔話を聞きますか？

日時：9月17日(日) 午後1時30分、3時

場所：展示室民家。参加自由

☆：展示(無料)・プラネタリウム(観覧料) ○：申込制 ◎：自由参加 無印：年間会員制

あなたと博物館 25巻 6号 284号 発行 平塚市博物館 2800

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 TEL:0463-33-5111 FAX:0463-31-3949

E-Mail:muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp ホームページ <http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/>